

令和5年度(第29期) にいがた市民大学前期講座プログラム(案)

(1) プログラミング【夏休み親子特別講座】

コース名	講座名	趣 旨	主な受講対象者 (世代など)	提案者
—	親子で学ぶプログラミング	2020年度から、小学校でプログラミング教育が必修化されました。IT化が進んでいる現代社会では、順序立てて考え、試行錯誤し、ものごとを解決する「プログラミング的思考」の育成が求められています。各種センサーやモーター、ブロックで様々なロボットやシステムを構想できる「アーテックロボ(2.0)」のセットを使って、プログラムで動くロボットカーを自分でつくります。その中で、コンピューターやプログラムがどのように活用されているかを体験を通して学びます。	小学生とその保護者 (祖父母等を含む)	中村(恵) 委員 橋本委員

(2) まちとデザイン

コース名	講座名	趣 旨	主な受講対象者 (世代など)	提案者
新潟学	まちとデザイン	<p>【講座実施回数】5～10回 【講座コーディネーター】? 【講座内容】新潟のまちにあるさまざまなデザインに目を向け、視野を広げるきっかけ作りとなる講座 【講座テーマ】 デザインとはなにか(想定講師:新潟大学橋本学先生) まちのグラフィックデザイン(想定講師:Frame石川竜太さん) 建築物のデザイン(古いもの編/想定講師:新潟絵屋大倉宏さん or 齋藤家学芸員久保有朋さん、新しいもの編/想定講師:?,前川國男編/想定講師:新津美術館松澤館長) まちづくりのデザイン(想定講師:hickory03travelers迫一成さん/沼垂テラス高岡はつえさん) まちを楽しむ仕掛けのデザイン新潟下町編(想定講師:新潟路地連野内隆裕さん) 新潟駅周辺のデザイン(想定講師:?) まちのユニバーサルデザイン(想定講師:ミカユニバーサルデザインオフィス中村美香さん) スノーピークのデザイン(ロゴからのブランド作り、新潟から世界への発信。公開講座に。想定講師:スノーピーク山井会長)</p>	30代を中心とした若い世代	霜鳥委員 野内委員 橋本委員

令和5年度(第29期) にいがた市民大学前期講座プログラム(案)

(3) 気候学・気象学から見た現在と将来の備え

コース名	講座名	趣 旨	主な受講対象者 (世代など)	提案者
現代の社会 問題	経験のない気象災害に備える	地球規模で温暖化の加速などの大きな変化や甚大な災害の頻度が高まっています。他方新潟市では、人口減・高齢化による地域力の低下など地域実態も年々変化し、残念ながら災害時の不安が全くないとはいえません。 そこで気候学や気象学の視点から環境変化や災害に強い新潟市とはどのようなものかを知り、それに合わせた私たちの備え等について考えていきます。	高校生以上の一般市民 (中学生は保護者同伴なら可とするか?)	中村(美)委員

(4) 栄養学の基礎と実践

コース名	講座名	趣 旨	主な受講対象者 (世代など)	提案者
人間理解	家族みんなのための栄養学 ～三世代に向けた持続可能な食生活～	食事の好みは様々というものの、好きなものを好きなだけ食べていると、塩分摂り過ぎ、糖質摂り過ぎ、エネルギー摂り過ぎといった状況になりかねず、子供たちの食習慣の形成にも大きな影響を与えてしまいます。国民健康栄養調査データから伺える現代人の食習慣の課題を踏まえて、全世代対応の「食育」の浸透、「食事栄養リテラシー」の向上を目指します。 栄養がどのように体の構造・機能を担っているのかを概説し、調理学・食品学の基礎とともに具体的なレシピなども交えて紹介します。様々な健康情報があふれる中で本当に何が良いのかを知るとともに、一人暮らしの大学生、単身赴任の方、高齢者とともに、アスリート向けの具体的な助言も専門家から講義していただきます。 補足:野口孝則先生(上越教育大学 教授)および浅野まみこ先生(株)エビータ代表 https://e-vita.jp/ に講師として協力いただくことについて了解を得た。	30代～60代の主婦	追手学長 富永委員 成田委員

令和5年度(第29期) にいがた市民大学前期講座プログラム(案)

(5) MBAエッセンシャル 【オンライン】

コース名	講座名	趣 旨	主な受講対象者 (世代など)	提案者
—	MBAエッセンシャル	<p>ビジネススクール(経営大学院)で開講している組織運営に関する講座のエッセンスを体系的かつコンパクトに学ぶものです。様々な業種の事例を交えながら、企業戦略論に基づく分析フレームワーク、マーケティング理論に基づく製品戦略構築とブランディング、組織行動学に基づく人材の管理と育成、会計・財務の基礎などを網羅します。新潟発の海外展開ビジネスおよびデジタルトランスフォーメーション(DX)関連の経営者による講義も予定しています。</p> <p>毎回の講義では知識の習得だけでなく、参加者の所属企業もしくは仮想企業を題材とした個々の検討を支援することによって、参加者がそれぞれプログラム終了時点で「ビジネスプラン」を策定することも可能になります。</p> <p>補足:本プログラム趣旨について伊藤龍史先生(新潟大学 経済科学部 准教授、新潟でのアントレプレナー育成に尽力されている)に賛同いただき、共同コーディネーターの了解を得ることができた。</p>	<p>企業組織で管理職の立場にある方、起業を目指している方、自社をさらに発展させたい経営者など</p>	富永委員